

「十戒」の学び～その 8～

2023.2.10 (Fri.)

十戒（出エジプト 20：2～17）

わたしは、あなたをエジプトの地、奴隷の家から導き出したあなたの神、主である。

1. あなたは、わたし以外に、ほかの神があってはならない。
2. あなたは自分のために偶像を造ってはならない。
3. あなたは、あなたの神、主の名をみだりに口にしてはならない。
4. 安息日を覚えて、これを聖なるものとせよ。
5. あなたの父と母を敬え。
6. 殺してはならない。
7. 姦淫してはならない。
8. 盗んではならない。
9. あなたの隣人について、偽りの証言をしてはならない。
10. あなたの隣人の家を欲しがってはならない。

十戒のポイント

- ・十戒の前文（「わたしは」）。民をエジプトから解放された愛（過越しも含む）。イエス・キリストの十字架の愛。この愛に答える。神を愛するための命令（Ⅰヨハネ 5：3）
- ・一方で罪を知らせる。キリストの救いを求めさせる。ガラテヤ 3：23～25
→キリストの救いの大きさを知る。十戒と「キリエ・エレイソン（主よ、あわれみ給え）」（交唱）

第一戒

エジプトから救われた主が言われる。「あなたには、わたし以外に、ほかの神があるはずがない」。

第二戒

「あなたは自分のために偶像を造ってはならない」→偶像を造るとは、不安定要素を取り除くことまことの安定とは？ マタイ 4：1～11：神を信頼し、みことばに生きる。

第三戒

「あなたは、あなたの神、主の名をみだりに口にしてはならない」

→礼拝の中で、心を込めて主の名を賛美し、呼び求め、主の名によって人々を祝福しよう！

第四戒

「主が七日目に休んだ」（20：11）とは、天地創造の完成を告げるため（創世記 2：2）

六日間は神によって与えられた仕事を熱心に行い、七日目には、この一週間のわざを完成されたのが神であることを告げる（記念する）ために休む。わざをやめる。

申命記の「十戒」（申命記 5：6～21）（これから約束の地に入る前）にも十戒が述べられている。

出エジプト 20：2～17 との違い。一番大きな違い。ここで、第七日目に記念されるのは、救いの完成。神がエジプトからの救いを完成された。→イエスの復活により安息日は日曜日になった。

第五戒

親と子：縦の関係→神と人との関係を体験的に知る道

子どもたちへの命令と同時に親たちにも語れている。尊敬されやすい親たれ！

信仰継承は、関係継承。主にある親子関係を継承する

第六戒「殺してはならない」。

「殺してはならない」のゴール：マタイ 5：23～24

「兄弟が自分を恨んでいることを思い出したなら」、怒るのではない。やり返すのではない。

→「仲直りをしなさい」→相手も自分も生かすこと（交わりの回復）

キリストを殺したという罪→キリストの十字架の贖いによって赦される。

第七戒「姦淫してはならない。」

「堅く節操を守る」とは何か？ 伴侶を愛する延長線上にある（日常において）

第八戒「盗んではならない」

最もわかりやすい命令

盗まなければ良いのか？～この命令の「射程」：実は盗んでいるという現実～

所有の問題～神との交わりの中で所有する～

- ・すべては神のもの
- ・私のもの：所有ではなく管理（時間・健康・家族…etc）
- ・十分の一献金とは？

誘拐の禁止～自由を強奪することの禁止～

- ・ヨセフ物語（創世記）、エジプトでの奴隷生活から「誘拐し、奴隷にしてはならない」
- ・人の自由を奪うことの禁止（宗教的マインドコントロール、家庭における实际的・精神的抑圧。教会にも）
これに対して語られるみことば：ガラテヤ 5：1、13。与えられた自由の用い方。
- ・「誘拐し、奴隷にしている」現状：福島（原発）、沖縄（基地）。中央の快適が地方を「盗む」

第八戒と信教の自由

「信教の自由はこれを保証する。…ただし、社会的儀礼又は習俗的行為の範囲を超えないものについて、この限りではない」

（自民党憲法改正案（第20条））（2014年4月発表）

生徒「私は神社参拝をしません」先生「いや、これは社会的儀礼なんだよ」という日がやって来る。

もう盗んではいけません。むしろ…

「盗みをしている者は、もう盗んではいけません。むしろ、困っている人に分け与えるため、自分の手で正しい仕事をし、労苦して働きなさい。」（エペソ 4：28）

- ・分け与えること
- ・自分の手で
- ・「労苦して」＝「ほねおって」（第三版）。「無駄骨」であっても。終末における栄光